

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

世界と相対比較をすると日本の危機がわかる

小林 喜光 (三菱ケミカルホールディングス会長、前経済同友会代表幹事)

1. この 30 年、日本の名目 GDP (国内総生産) は 500 兆円前後を行き来し、ほぼ成長はフラットな状態だったと言えます。かたや米国はほぼ 2 倍になりました。企業の時価総額を見ても 1989 年時点では世界のトップ 10 社のうち日本企業が 7 社を占めていましたが、今ではゼロになりました。厳然たる事実なはずなのに、世界から取り残されている現実には多くの日本人は気づいていない。
2. 私はそれが一番危機だと思っています。外から見るとこんなにも立ち遅れているのに相対比較をしない。まさに狭い世界のなかで、のぼせ上がった「ゆでガエル」です。昨年の内閣府の世論調査では国民の 75%、若者の 83% が「現状に満足している」と回答している。ぬくぬくと生きている場合ではないでしょう。
3. このような日本の危機に気づいた人は多くても、アクションをとれている人は 1~2 割り程度という印象です。よく見てみると内部留保で 400 兆円以上ある一方、売上高全体ではほとんど伸びていない。「運転資金がいるから現金をためている」という理屈は成り立たなくなっているうえ、企業と経営者が「戦う意志」を失ってしまった証左と言えるでしょう。安定志向というか、とりあえずヤバイことはやめておこうと、横並び、事なかれ主義が広がり、経営判断にスピード感とダイナミズムが失われました。

(参考:「日経ビジネス」2019 年 7 月 29 日号)

人事・労務について

父親の育休取得を推進

リンダ・グラットン (「ライフ・シフト」の著者)

1. 日本の課題は、キャリアを取るか、子どもを取るかという選択を暗に女性に対して迫っていることが、一番の問題といえる。出生率が非常に低いのもこういった選択を課してしまったからだ。父親が長時間労働、家庭にめったにいない状況も、家族にとって好ましくない。仕事が忙しすぎて地域コミュニティなど社会に貢献できていないところにも問題がある。
2. 女性が望んでいるのであれば、キャリアを築くことを後押しし、男性が父親としての役割をもっと担うことを後押しすべきだ。だからこそ、父親の育休取得を推進することが重要なのだ。企業の上層部に女性の割合を増やすための施策として、最も有効なのは「男性に育休を取らせること」という米国の調査もある。父親と子どもがもっと一緒に過ごせれば、家族として安定するだろう。

(参考:「週刊東洋経済」: 2019 年 7 月 20 日号)

経営者のための危機管理

日本企業の活力を奪った米国型マネジメント

野中 郁次郎 (一橋大学名誉教授)

1. バブル崩壊から約 30 年が経過した。平成から令和へと時代が移ったが、日本企業の活力は失われたままだ。なぜ低迷が続いてしまったのか。その最大の原因は、日本企業の経営手法が米国発の科学的アプローチに偏りすぎだからだと考えている。
2. バブル崩壊で経営の自信を失った日本企業は、平成の 30 年間、米国で流行の経営手法・指標やツールを導入し、MBA (経営学修士号) 取得を奨励するなど、米国型のマネジメントを積極的に取り入れた。この米国型のマネジメントの偏重が、日本企業から組織的に新たな付加価値を創出する力、つまり「組織的な知識創造力」を奪ったと考えている。これは元々日本企業が持っていた何より大きな強みだった。

(参考:「Wedge」2019 年 8 月号)

古典に学ぶ

金銭は財産の代称

(解説) 金銭は貴いものではあるが、また卑しい物である。貴い点より言えば、金銭は労力の代表となり、約束によって大抵の物の対価は金銭ならでは清算のできぬものである。けだしここに金銭というのは、ただ金銀貨幣紙幣の類の通貨のみを指すのではなく、金銭は財産の代称であるとも言い得ると思うのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)